

中学校第1学年音楽科学習指導案

指導者 今泉 むつみ

1 題材 日本の歌の魅力を見つけて歌おう

2 題材の目標

歌詞の内容や曲想を感じ取り，曲にふさわしい歌唱表現を工夫して歌う。

3 題材設定の意図

日本歌曲は，日本語の語感を十分に生かして作られており，日本語の美しさを改めて実感することができるものである。また，言葉そのものがもつ美しさ，歌詞の情感や言葉の抑揚を生かした，流れるような旋律の味わいなど，歌い込むほどに魅力が深まる一面も見られる。さらに，我が国の四季や自然の美しさを感じ取ることができ，長く親しまれてきたのが日本歌曲である。その魅力をすぐに体感するにはいたらないまでも，将来的には，日本人が育んできた情感を感じ取る心や，大人になると誰でも抱くであろう郷愁にはつながっていくものと考え。

本学級の生徒は，明るく活発的で，音楽の授業にも意欲的に取り組む生徒が多く見られる。

(実施人数 31名)

質問事項	回 答	
①歌うときに気を付けていることは何ですか？ (複数回答可)	「発 声」 13人	「歌詞の内容」 9人
	「強 弱」 11人	「諸記号」 7人
②日本の歌に対する印象を書いてください。	「暗 い」 15人	「四季を感じる」 6人
	「静 か」 12人	「落ち着く」 4人

アンケートの結果から，歌唱をする際に，「歌詞の内容」や「記号」について考え，表現の工夫に生かそうとしている生徒は少ない。

また，質問事項②の日本の歌に対する印象に対して「暗い」や「静か」など偏ったイメージを持った生徒が多く見られた。日本人でありながら，我が国で長きにわたって歌い継がれてきた歌のよさを実感できないという実態は非常に残念なことである。日本の歌と触れ合う機会を音楽の授業で積極的に設け，日本歌曲を歌ったり歌詞の意味を考えたりと深く関わらせることで，日本の歌に対する印象を少しでも変えていけたらと考える。

そこで，本題材では共通教材である「花の街」を取り上げ，歌唱表現の工夫をさせたい。この曲は詩と旋律の流れとが一体になった美しさ，効果的な休符の使い方，旋律の盛り上がりなど魅力的な要素の多い作品である。まず，歌詞の情景や構成についてグループで話し合い，曲に対するイメージや感情を広げ，それを歌に込めて表現させることを中心に活動していきたい。表現の工夫について考えるといった活動を取り入れることで日本の音楽と深く関わらせ，日本の歌の魅力を味わわせたい。また，グループ活動や発表をすることにより，お互いのよさに気づき，認め合い，自分の表現に生かしていこうとする意欲を高めていきたい。

4 教材

「花の街」(作詞：江間 章子 作曲：團 伊玖磨)

5 題材の評価規準及び学習活動における具体的評価規準

	ア 音楽への関心・ 意欲・態度	イ 音楽的な感受や 表現の工夫	ウ 表現の技能
歌唱	○	○	○
器楽			
創作			
鑑賞			
題材の 評価規準	音楽の要素の働きと歌詞の内容により生まれる曲想に関心をもっている。	音楽の要素の働きと歌詞の内容により生まれる曲想を感じ取っている。	音楽の要素の働きと歌詞の内容により生まれる曲想に気を付けて歌唱表現をする技能を身に付けている。
学習活動における 具体的評価規準	①音楽の要素の働きと歌詞の内容により生まれる曲想に関心をもっている。 ②感じ取ったイメージを進んで表現しようとしている。	①音楽の要素の働きと歌詞の内容により生まれる曲想を感じ取っている。 ②曲にふさわしい歌い方を感じ取り、自分の表現に生かす工夫をしている。	①音楽の要素の働きと歌詞の内容により生まれる曲想に気を付けて歌唱表現をする技能を身に付けている。

6 学習と評価の計画 (3時間扱い)

時	ねらい	主な学習活動	具体的評価規準
1	○歌詞の内容や曲想を生かした表現の工夫をするための音楽の要素について学習し、曲のイメージを深める。	<ul style="list-style-type: none"> ・「花の街」を聴き、曲の雰囲気をつかむ。 ・歌詞の内容を理解し、曲のイメージを深める。 ・音楽の要素をもとに、曲想を理解する。 	アー① アー②
2 (本時)	○音楽の要素の働きと歌詞の内容により生まれる曲想を感じ取り、曲にふさわしい表現を工夫する。	〈グループ活動〉 <ul style="list-style-type: none"> ・音楽の要素の働きにより生まれる曲想を感じ取り、表現の工夫をする。 ・グループで考えた表現の工夫を発表する。 	イー① イー②
3	○音楽の要素の働きと歌詞の内容により生まれる曲想に気を付けて歌唱表現をする。	<ul style="list-style-type: none"> ・第2時で考えた表現の工夫を生かしてグループごとに発表する。 ・他のグループの演奏を聴き、相互評価をする。 	ウー①

7 本時の学習



(1) 目標

歌詞の内容や音楽の要素から生まれる曲想を感じ取って、曲にふさわしい表現を工夫する。

(2) 準備・資料

教科書，拡大楽譜，ワークシート，グループ活動用楽譜，「音楽の要素」カード，付箋

(3) 展開

学 習 活 動 ・ 内 容	指 導 ・ 援 助 の 留 意 点
<p>1 「花の街」を歌う。</p> <p>2 本時の学習課題を確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>歌詞や曲想を感じ取って、曲にふさわしい表現を工夫しよう。</p> </div> <p>3 グループで表現の工夫をする。</p> <p>(1) 楽譜中の記号の確認をする。</p> <p>(2) 歌詞と音楽の要素のかかわり合いに注目し、工夫する点について話し合う。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p>【音楽の記号と要素】</p> <p><i>mp</i> <i>mf</i> <i>f</i> <i>cresc.</i> </p>  <p>旋律 リズム 強弱 速度</p> <p>歌詞 歌声 など</p> </div> <p>4 グループで考えた表現の工夫点について、全体で歌って試す。</p> <p>5 本時のまとめをする。</p> <p>(1) 表現の工夫を生かして全体で歌う。</p> <p>(2) ワークシートに自己評価をする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ のびのびと歌う事により学習に対する意欲を高める。 ・ 曲にあった歌声を考えながら歌うように指示する。 ・ 表現の工夫につなげるために、前時に学習した「曲のイメージ」を提示する。 ・ 楽譜中の音楽記号の読みや意味をグループで確認することで曲への理解を深めるようにする。 ・ 前時に学習した表現を工夫するための音楽の要素を踏まえ、歌い方を工夫する箇所についてグループで話し合うようにする。 ・ 工夫していく際に必要な【音楽の記号と要素】を、カードを使って話し合うように指示する。 ・ 歌い方の工夫が決まった箇所は、工夫点を付箋に書き込み、視覚的にも分かりやすいようにする。 ・ ある程度できたグループには、実際に工夫するポイントを歌ってみるように指示し、よいところや直したほうがよい点を話し合うように助言する。 ・ 各グループが考えた表現の工夫点をもとに歌って試す際、提案者が聴き手となり、工夫したことが表現に生かされているかを確認させていく。 ・ 各グループから出てきた工夫するポイントを再確認し、全体で歌う。

(評) 曲想を感じ取って、曲にふさわしい表現を工夫している。

(ア-②, イ-① 観察・ワークシート)

Aへのキ-ワト 曲想を感じ取り、積極的に曲にふさわしい表現をしようとしている。

音楽の記号と要素の効果を意識し、効果的に表現している。

Cへの手立て 表現ができている友達に合わせて歌うようにアドバイスをする。

- ・ 自己評価を記入し、次時の発表会に向けて意欲付けを図る。